

標茶町の自然を魅せるために

～未来の子どもたちに私たちができること～

異文化理解系列 しべっこゼミ

松家 柚、黒崎 唯愛、渡部 梨嗟、村野 夏美、小牧 実聖、中原 桃花

(1) はじめに

福祉系のゼミがなく、ないなら自分たちで作れば良かったのがきっかけで立ち上げました。

はじめは昨年度の音楽ゼミを参考に、高齢者の支援を主に活動しようと考えていましたが、新型コロナウイルスの影響を配慮し、断念しました。そこから2つの疑問(後に仮説とする)に着目し、「子どもたちの運動不足解消」と「自然に興味や関心を持ってもらう」ことをうまく利用できないかと考え、最初の目的をこれとし、活動を開始しました。

私たちは、2つの仮説を立てました。

1つ目は、「新型コロナウイルスの影響により、外で遊ぶ子どもが減っているのではないか」というものです。最近ではゲームの普及により、外で遊ぶ子どもたちが減少傾向にあります。そこに追い打ちをかけるように新型コロナウイルスの流行による緊急事態宣言が出され、さらに家にいる時間が増えたのではないかと私たちは考えました。

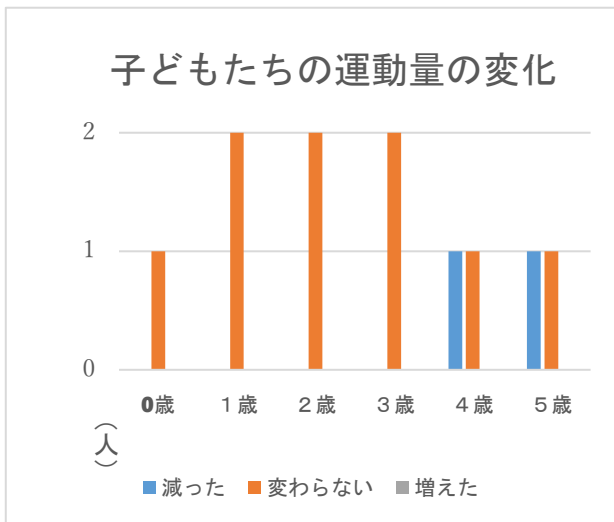
2つ目は、「標茶町の豊かな自然を活用すれば、子どもたちの自然に対する興味・関心を高められるとともに、地元の良さを実感してもらえないのではないか」というものです。標茶町は、とても自然が豊かな町なのに、その魅力を知らない人がいることはもったいないと感じ、自然ガイドの授業で学んだアクティビティを生かし、伝えようと考えました。

(2) 研究方法・研究項目

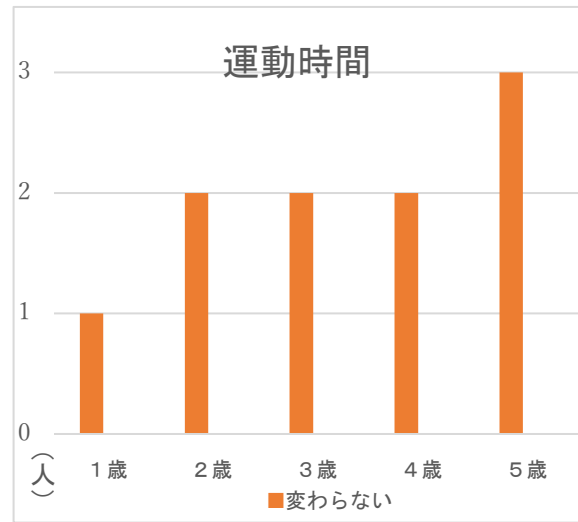
1. 保育所や幼稚園に普段の子どもたちの様子についてアンケートをとりました。
2. 課題である「自然に興味や関心を持ってもらう」を達成するために、小・中学生に向けて「ネイチャービンゴ」というイベントを行いました。ビンゴ用紙などゼミで全て手作りし準備をしました。イベントの前後にアンケートをとり、比較しました。
3. 釧路の日専連で行われている標高フェアに参加しアンケートを行いました。
4. 遠矢の中学生の受け入れを行いました。その後、事後アンケートをとりました。

(3) 結果

1. 保育所や幼稚園に普段の子供たちの様子についてのアンケートをとった結果、コロナウイルスの影響により、「子どもたちの運動量の変化」(図1)、「運動時間」(図2)に『どの年代も変化がない』という情報を得ることが出来ました。そして、この結果から、子供の対象年齢を「幼児」から「小・中学生」に引き上げることにしました。



↑ 図 1



↑ 図 2

2. 「ネイチャービンゴ」を行う前に、「自然に興味があるか」というアンケート（図3）を取り『以前から自然に興味を持っている人が多い』、『特に小学生は興味を持っている人が多い』という結果を得ることが出来ました。

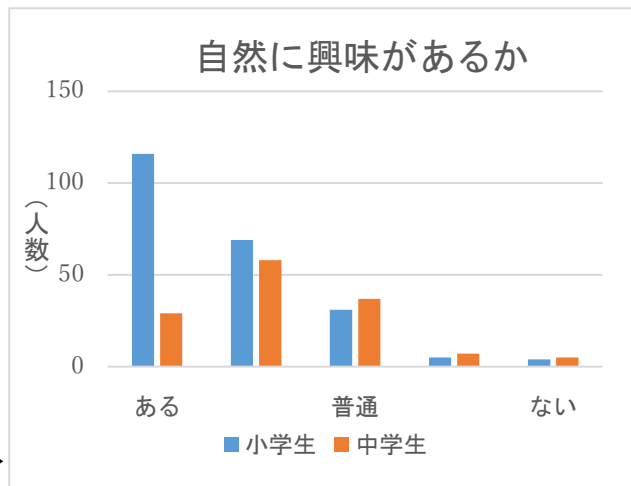


図 3 →

3. 「ネイチャービンゴ」を行い、事後アンケート（図4）で「期間が短すぎて出来なかったから次やりたい」、「内容が難しすぎる」、「難易度を小・中で分けてほしい」などの様々な意見をいただいたので、今後改善していき、よりよくしていきたいと考えました。

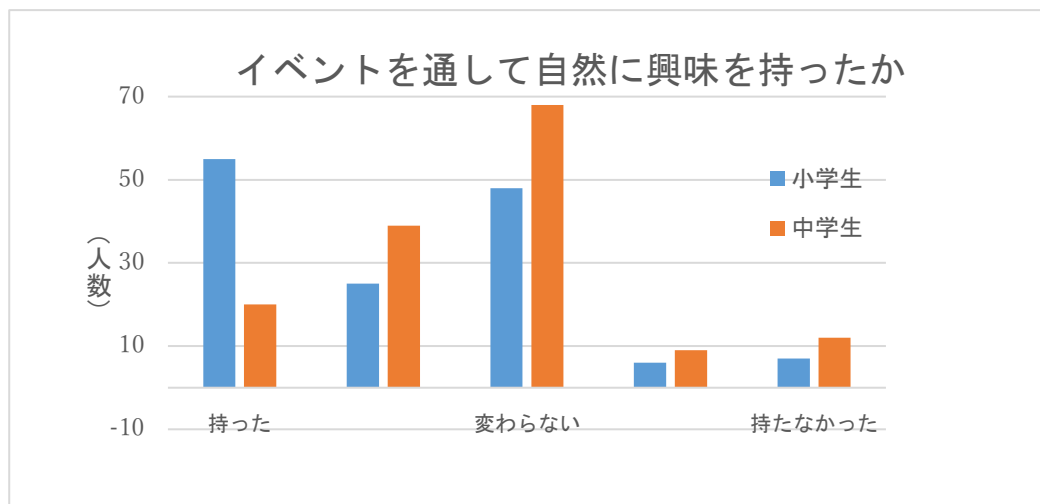
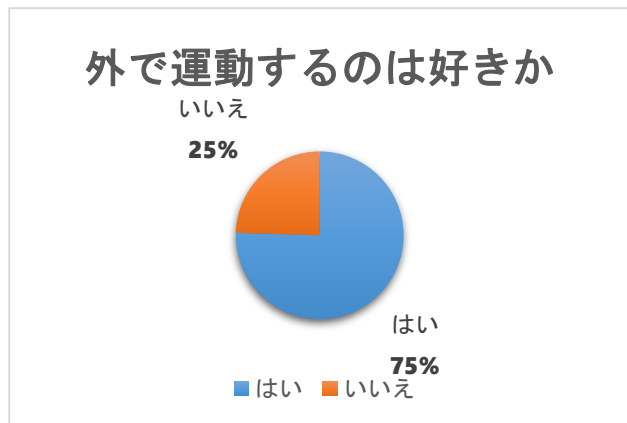


図 4 →

4. 標高フェアでは、様々な人に「外で運動するのは好きか」、「子育てする際に、外で子どもを遊ばせていたか」のアンケート（図5、図6）をとり集計したところ、「外で運動するのは好きか」という質問では好きな人が、約8割、嫌いな人が約2割を占める結果となりました。また、「子育てする際に、外で子どもを遊ばせていたか」という質問では「はい」と答えた人が約9割、「いいえ」と答えた人が約1割でした。



↑ 図5



↑ 図6

(4) まとめ

1年間の研究から、2つの成果が上げられます。

- ① 新型コロナウイルスによる影響で、運動量は減少することではなく、変化は見られませんでした。
→運動量については、変化は見られませんでした。今後コロナウイルスが今以上に流行した場合、変わる可能性があると考え継続して行くべきだと思います。継続して行くことで、今年と来年の運動量を比較して新たな情報を得られると考えたため。
- ② 自然に興味を持っている子どもは多いが、実際に外に出て直接関わる機会が少ないことが分かりました。
→なぜ関わる機会が少ないのか根底から調査する必要があると感じました。（大きな遊具がない、新型コロナウイルスによる不要不急の外出禁止の為と考える）

これらの成果から今後の課題として、自然に直接関わるイベントの考案、小中学生への実施を増やし、標茶町の子どもたちの自然に対する意欲をさらに高めたいと考えています。

(5) おわりに

本ゼミは今年度立ち上げたばかりのゼミで、1から物事を計画、実行し実際に解決するのは想像以上にとても困難でした。

自然ガイドで学んだ自然に関わった遊びや、GUW（グローイング・アップ・ワイルド）の資格はとても役に立ちました。福祉関係の職に就きたいと考えている方や、子どもが好きな方にぜひ引き継いでほしいです。標茶高校の環境を生かして活動するこのゼミでは、コミュニケーション能力はもちろん、発想力や想像力、物事に対する視野を広げることができます。また子ども相手の活動になるのでアクシデントはつきものですが、臨機応変に対応する力を身につけることができました。このゼミでしか体験できないことは、今後の進路活動の大きな強みになると思います。

最後に本ゼミの活動に携わって頂いた方々、ご協力いただき本当にありがとうございました。